



晃陽

第10号

～生徒が安心して力を発揮できる学校～

＜目指す生徒像＞

- たしかな学力をもつ生徒
- 豊かな心をもつ生徒
- 強い体力・気力をもつ生徒

晃陽は
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

学校だより 令和3年2月17日

宇都宮市立晃陽中学校長 大島 誠



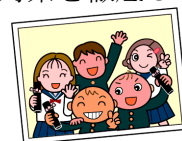
春はすぐそこまで！



立春も過ぎて、日の光の強さを感じるようになってきました。校舎前の花壇からは、スイセンやフクジュソウが顔を出し、日に日に大きくなり春の到来を告げているようです。これからの時期は寒い日が3日ほど続くと、そのあと4日ほど温暖な日が続き、また寒くなるという「三寒四温」という現象が繰り返されます。気温の変化が大きくなりますので、体調管理には十分気を付けましょう。ちなみに、平成26年(2014年)の関東で記録的な大雪(宇都宮32cm)になったのは、立春後の2月14日でした。



新型コロナウイルス感染症対策では、栃木県の「緊急事態宣言」は解除されました。宇都宮市内の状況も改善されてきていますが、現段階で緊張感を緩めることは感染の再拡大を招くおそれがあること、医療体制については依然として厳しい状況にあることから、宇都宮市独自の緊急事態宣言は2月21日まで継続されています。晃陽中学校でも、登校時の健康観察や手洗いうがいなど感染症対策を徹底しております。ご協力、よろしくお願いいたします。



本年度の卒業式も、卒業生と職員・保護者のみでの実施になります。ご理解とご協力をお願いいたします。



2月10日 晃陽中創立記念日

2月10日は晃陽中学校の創立記念日でした。学校創立は昭和45年4月1日です。富屋中学校と篠井中学校が統合し、現在の晃陽中学校がスタートしました。学校名の由来については次の通りです。新設される学校は宇都宮と日光の間に位置しており「晃」日と光つまり日光を象徴し、「陽」は陽北、陽南といった宇都宮の中学校でよく使用されている文字を入れて「晃陽」としたそうです。「晃陽」の2つの文字はそれぞれ日の当たる場所、光かがやくといった意味を含み、夢や希望を感じるとともに美しい響きを感じます。



右上の写真は、1971年(昭和46年)の航空写真です。建設中の体育館は小さく、学校周辺も現在とは大きく違っており、時の流れを感じます。今年度で創立51年が経過しました。地域の多くの方々の晃陽中への思いや多くの卒業生に支えられていることを忘れることなく、より良い晃陽中学校を創っていきましょう。



立志式

1月22日(金)に2年生の立志式を実施しました。予定していたスキー教室は緊急事態宣言もあり残念ながら実施できませんでしたが、副校長先生の話、知事メッセージの伝達、クラス代表4名の作文発表がありました。更生保護女性会から立志の記念に「しおり」をいただきました。全員でお礼を書き、模造紙に貼り付け届けてきました。

これからの自分について考える良い機会になったと思います。



3年生特別給食

1月29日(金)は、3年生の特別給食を実施しました。人気メニューが並び、デザートが2つ選べるなど、いつも以上においしく感じました。全員が笑顔で、おなか一杯食べました。みんな満足した表情でした。



言葉を前向きに「変換」してみよう！ PHP 2月号 にしだまさき 西多昌規(精神科医)

最近、特にSNSでは、誹謗中傷のような「後ろ向き」な言葉があふれ、心が折れかかっている人も多いはず。できれば、私たちに力を与えてくれる「前向き」な言葉ばかりを聞きたいものです。

そのために大切なのは、**自分自身が「後ろ向き」な言葉を発しない**ことです。代表的な「後ろ向き」な言葉は、他人の悪口です。他人の悪口は聞いていてもいい気持ちはしないどころか、「この人は自分のことも悪く言っているのかも」と警戒されてしまい、結果的には孤立してしまいます。

また、相手の話に「でも」「だって」「どうせ」という、話の腰を折る「3D接続詞」も、やめたい口癖です。「類は友を呼ぶ」というように、人は同じ言葉を話す者に同調し、固まるものです。ネガティブな口癖の人どうして集まっても、ずっと不満ばかりの人生になってしまいうでしょう。

逆に、「すばらしい!」「いい考えだ!」「行動してみよう」という「前向き」な言葉を使う人々つき合っていけば、自分自身も自然と「前向き」な思考と感情に染まっていくものです。

